

平成 22 年 1 月 12 日

各 位

東京都中央区日本橋二丁目 15 番 3 号
 株式会社 エスプール
 代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
 (コード番号: 2471)

問い合わせ先:
 取締役管理本部担当 佐藤 英朗
 電話番号 03(3517)6633 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 7 月 7 日に公表しました平成 21 年 11 月期 (平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 11 月期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日)

(単位: 百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,819	△109	△132	△192	△7,462 円 88 銭
今回修正予想 (B)	5,812	△478	△500	△470	△18,203 円 66 銭
増減額 (B - A)	△1,006	△369	△368	△277	—
増減率 (%)	△14.8	—	—	—	—
(ご参考)前年度実績 (平成 20 年度 11 月期)	6,735	111	115	53	2,062 円 51 銭

2. 業績予想修正の理由

売上面では、総合人材アウトソーシング事業において人材派遣サービス部門での受注下げ止まりの兆しがあり、急激な回復は見込めないものの、売上減少には歯止めが掛かると予想しており、実際にもそのような傾向となりました。しかしながら、歯止めが掛かるまでの売上減少のペースと大きさは予想を上回るものとなり、計画未達となりました。また、システム事業では、既存開発プロジェクトの縮小分や契約終了分を、相対的に短期間の新規受託開発案件にて補う予定でしたが、既存売上の減少幅が計画を上回っただけでなく、新規案件の受注も思うように進まず、売上が大幅に減少しました。これらの結果、連結売上高について、前回の予想額を下回ることとなりました。

利益面では、総合人材アウトソーシング事業の売上計画未達成による売上総利益の減少が大きかったほか、パフォーマンス・コンサルティング事業では、第4四半期において、企業業績の悪化の影響により、社員研修における大型案件の直前キャンセルが相次いだことで、事業拡大を見込んで期初に採用した人件費の増加分を吸収することができませんでした。また、システム事業では、受注の減少に合わせてシステムエンジニアとの契約を順次見送ってきました。しかしながら、受注減少のペースが予想以上に速く、待機システムエンジニアが一時的に大量に増加したほか、新規受託開発案件の進捗管理が思うようにいかず売上総利益が大幅に減少したことで、営業損失を計上することとなりました。

一方で、第3四半期以降、売上減少部門を中心にコスト削減を進め、固定費、人件費等の販管費削減が進みましたが、売上計画の未達による売上総利益の減少を埋めるには至らず、連結の営業利益、経常利益、当期純利益についても前回予想を下回る見込みとなりました。

以 上

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、現時点で得られた情報に基づいたものでありますが、実際の業績は、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があることにご留意ください。